

新春特別対談

白井日出男代議士・阿佐幸雄会長、 月星会を大いに語る

INDEX

<新春特別対談>
白井代議士・阿佐会長、
月星会を大いに語る…1～3
各委員会活動報告……4～6
会員異動/スケジュール……6

司会 奥平 恵

●月星会の発足を振り返る

司会 明けましておめでとうございます。月星会における
昨年の出来事といえば、何よりも白井先生のご勇退報
道でした。誰もが予想外でしたので、会員の間で大き
な衝撃が走りました。これからの月星会はどうなるのか
という動揺の声も数多く上がりました。

そこで今日は、月星会の今後を考えるステップとし
て、月星会の歴史などを振り返りながら、お二人に忌
憚のないお話をしていただければと思います。

そもそも、月星会というのはどういう経緯で生まれた
のでしょうか？

阿佐 千葉県中小企業家同友会の有志が集まって、経営
者同士の独自の勉
強会を作ろうとい
うのがそもそもの
発端です。同友会
を超える商工会議
所のような団体を
目指したのです。
当初は、「うすい
同友会」という名
称でした。



司会 白井先生との接点は？

白井 同友会の行事に自民党の千葉県連を代表して私が
出席していたのです。そこで鶴川さん（初代会長）や
北原さん、浅尾さんたちと親しくなり、政治家としての
私を応援するグループが出来たわけです。そのグルー
プが、「うすい同友会」という名で支援活動を始めてく
れたのです。

阿佐 同友会が一つの政党色を打ち出さないことを標榜し
ていたため、白井先生が自民党だからといって自民党
を応援していたわけではありません。しいて言えば「う
すい党」と言ったほうがいいかもしれません。運営も自
主運営で政党には頼っていませんから。その点、他の

後援会と一線を画しているところです。

●「うすい同友会」から 「うすい月星会」へ

司会 記録を見ると、「うすい同友会」が初会合を行った
のが1982年ですね。そのあと、1989年の10月に千
葉グランドホテルで「うすい月星会」設立総会を開催し
ています。これが、月星会の正式な発足ということにな
るのでしょうか？

阿佐 そうですね。ただ、この時はまだ会費を取っていな
かったと思います。会費を取り始めたのは91年からで、
そのあと93年に初めて会報を出しました。

司会 「月星」というのは、どこから来たのですか？

白井 私の家の家紋
が月星だったので、そこからと
って「うすい月星
会」の名称にし
ていただいたの
です。阿佐会長が
言ったように、中
小企業家同友会
が一つの政党に
与しないというポ
リシーを持っていたので、「同友会」を名称に使うのは
具合が悪いということになったわけです。



★補足メモ

1999年1月発行された「会報つきぼし」(VOL.25)の
新春座談会で、初代会長・鶴川光一氏が発足の趣旨を端
的に語っている。以下に引用する。

<私は、理想を追求しながら希望を実現したい。いつも基
本に同友会で学んだポリシーがありましたので、「うすい同
友会」を創ることは地域社会において政治家と接触できる
場が出来、そこに多くの人々が参加し交流を深め勉強すれば、

中小企業経営者としても、また政治家としてもお互いによろしいことだと思いました。

不定期な懇親会から、昭和63年10月に「うすい月星会」を設立したわけですがチャーターメンバーの皆さんも私と同じで、中小企業経営者の人脈を作る交流の場として、また白井代議士の選挙のときは代議士を支援し、後援会と並列的に活動する会として発展的に改組したものです。>

●朝食会を軸に発展した「月星会」

司会 2001年に「うすい月星会」の「うすい」を取って、「月星会」に名称変更しましたね。

阿佐 「うすい月星会」の10周年を機に「月星会」に名称変更しました。

司会 なぜ「うすい」を取ったのでしょうか？

阿佐 地域のいろいろなイベントに協賛していたのです

が、主催者側が「うすい」の文字を外してしまうんですね。国会議員の後援会だと見られるからよろしくない、と。

もう一つは、税務上の問題もありました。後援会だと会費は交際

費になってしまうわけですが、我々の会は後援会ではなく経営者の勉強会として発足したのに、名称でそう誤解されるのはよくないという話になった次第です。

司会 ところで、月星会の活動の特徴は、朝食会を毎月行っている点にあると思いますが、朝食会はいつ頃から？

白井 朝食会は、かなり前から開催していたんじゃないかな。新生うすい月星会の発足当初からでしょう。

阿佐 91年の10月からです。その前月にタイムキーパーを設けて模擬的にやってみたりしていたのでよく覚えています。おそらく、これまでに191回か192回行っているはずですね。先生は、2回しか休んでいないんですよ。

白井 あ、そう。よく覚えてますね。

司会 白井先生、2回休んだ時のことは覚えていらっしゃいますか？

白井 いや、覚えていませんが、たぶん国体のボウリングがあった時じゃないかと思うんだけど……。私は全日本ボウリング協会の副会長で、実業団の会長でもあるのですが、国体の時には秋篠宮殿下が出席されます。役員は、顔を揃えておかないわけにはいかないのですよ。たまたま朝食会がそれとぶつかったのじゃないかと思えます。

司会 でも、そういう時以外は、欠席していないというの

はずですよね。白井先生がいかに月星会を大切に考えていたかがよくわかります。

阿佐 先生は、月星会を優先順位の高いところに置いてくられていたのですね。

★補足メモ

1999年1月発行「会報つきぼし」の新春座談会では、鶴川初代会長と白井代議士が朝食会についても触れている。

<鶴川 何といっても朝食会を始めたことは良かった。この発想は素晴らしい。第1土曜日という日の設定も良かった。清々しい気持ちで皆さんと接するひとは何事にも変え難い心境です。

白井 まったくその通りですね。月星会が今日のような活発な会となった要因の一つが、定例朝食会の開催だと思います。私も初めは何回出来るものか不安でしたが、早いもので今月で76回目となりますね（一同拍手）。>

●「月星会」に元気をもらって

司会 先生は親睦旅行にも必ず参加していたようですね。

白井 事務所には「月星の親睦旅行は絶対行くぞ」と宣言してありますから。私が関係している多くの会や団体からも親睦旅行に誘われますが、実は他の旅行会にはほとんど行ったことがありません。唯一、月星会の旅行会だけは毎年参加しています。楽しい旅行ですし、参加すると元気をもらえるんです。旅行だけではありませんが、月星会自体が好きですし、お世話にもなっているので、私の優先順位としては非常に高いところにあります。



阿佐 ありがたいことだと思います。最初の親睦旅行は、新生うすい月星会の前の平成元年でした。宝川温泉でしたね。

白井 ああ、宝川温泉ね。あの時は楽しかったね（笑）。

阿佐 2、3人に一人の割合でコンパニオンをつけてドンチャンやりました。まだ女性会員が少なかった面もあって、最初の頃は芸者やコンパニオンを呼んで宴会をやっ

ていたのです。

白井 そうそう。宝川の時は、コンパニオンを呼んだらみんなフィリピンの女性だった（笑）。これには驚きました。

司会 親睦旅行では、飲みっぱなしという話も聞いていますが……。

阿佐 よく飲み、楽しく語り合うという感じです。先生も含めて誰もが飲みながら本音で話をしますから楽しいんですよ。

白井 確かによく飲むね。なにしろ、千葉からバスに乗って行くのだけど、バスが走り始める前から宴会が始まっているという感じです（笑）。

司会 飲みながらどういう話をしているんですか？政治の話もするのですか？

阿佐 ほとんどしませんね。

白井 全然しないね。

阿佐 そういう時に政治の話をするような先生じゃないですから（笑）。

白井 まあ、そういう場であり堅い話をするのもしからねすからね。

阿佐 とにかく気楽に飲んで楽しむのが月星会の親睦旅行です。

●女性会員が盛り上げる月星会

司会 会報のバックナンバーを見ていると、親睦旅行の楽しい雰囲気が伝わってきます。それでちょっと気づいたのですが、回数を重ねるごとに女性会員の参加が多くなっていますか？

白井 ある時期から急に増えましたね。月星会の特徴は、親子で入っている人がいることと、もう一つは女性会員が多いことでしょう。

阿佐 2000年ぐらいから急に増えてきました。男性会員より女性会員の入会が多くなっていることは間違いありません。選挙の度に多くなってきたかもしれません（笑）。女性のほうが声をかけやすいという面もあって、いろいろ助かるのですよ。

白井 女性が元気ですよ、月星会は。

司会 親睦旅行のみならず、いろいろな行事で女性会員が中心になって活躍されている点は、私も実感しています。それが月星会の活動が盛り上がる要因の一つになっているのではないのでしょうか。

阿佐 それは言えるでしょうね。

●今後の月星会は？

司会 そろそろまとめに入りたいと思います。白井先生が次期選挙に出馬せずご勇退となり、正一県議が後継者



と決まったわけですが、これからの月星会がどうなるのか皆心配しています。今後のことについて、まず阿佐会長からお話し下さい。

阿佐 昨年の総会で私が会長に就任したわけですが、今期のテーマに「自主自立」を掲げました。「自主自立のために一丸で行動しよう」と。スローガンは、「よく学び、よく育ち、元気な経営者になろう」です。月星会は、白井先生の事務所を使わせていただくなど、先生にお世話になっている面がたくさんあります。今後は先生に寄りかかるばかりではなく、自分たちが自分の力で厳しい経営環境を乗り切っていくことが重要であると考えたのです。そのために本来の会の趣旨である勉強会の機会を増やしました。基礎学修会と通常学修会を設けたのはその一つです。経営者同士の勉強会を通して自分たちの足腰を強化していかなければならない、と。また、月星会は一般的には広く社会に認知されているわけではありません。そこで、従来の広報委員会をPR・IT委員会に改組してホームページの充実を含め、PR活動に力を入れるようにしました。今年度は、まずそのことをしっかり行っていくことを第一に考えています。そのような形で足腰を強くし、経営者の集まりとしてより充実した活動を続けていきたいと思っています。

司会 では最後に、白井先生のお考えをお聞かせ下さい。

白井 月星会は、政治家としての私に元気を授けてくれた会です。間違いなく私の精神的な支えになっていました。今年、必ず選挙があるわけですが、後継者の正

一にもそうした精神的な支えになる団体として活動を続け、さらに発展していっていただきたいと思っています。

司会 どうもありがとうございました。



委員会報告

例会企画委員会

平成20年11月8日(土) ホテルグリーンタワー幕張

11月朝食例会

11月度の朝食例会は、肌寒い中24名の参加者のもと開催された。少し寂しい参加人数が続いている。司会は林例会企画委員会副委員長。

代議士からは、衆議院総選挙の見通しについて、またリーマンブラザーズ・サブプライムローンといった金融関係のお話を頂いた。

質疑応答では横田昇さんより自民党への支援が集まらない事への危惧、税制や経済対策で国民の理解を得るようといった意見が出された。

恒例の誕生日プレゼントコーナーでは志村美知子さん、藤原勝己さんに花束が贈られた。

固い話から少し離れて、山本相談役の「美術鑑賞の壺」として、10月にアンコールワットを訪れた際の写真や資料をもとに遺跡の復元についてや最新のお勧め美術展情報をご教授頂いた。

最後に穴倉幹事長より元気の出る閉会のご挨拶を頂き、11月度の朝食例会は閉会となった。

今月のフクロウ募金 7,050円。出席者 24名。

平成20年12月6日(土) ホテルグリーンタワー千葉

月星会望年例会

毎年12月には朝食例会は行われず、望年会として執り行われる。例会企画委員会が企画運営し、副委員長の産方さん、徳永さんが司会をつとめた。

阿佐会長の挨拶の後、千葉相談役より乾杯の挨拶を頂き望年会が始まった。スケジュールの都合で臼井代議士は、途中からの参加となった。他の宴席を早々に済ませて登場の代議士。月星会の宴だけはゆっくりと最後までくつろいで頂けているように思える。手前味噌かもしれないが、ありがたい。

食事があらかた済んだ所でおまちかねの出し物が続く。まずは会員の紺谷さんの紹介による、オオツカタカシ氏のジャグリングショーが行われた。ジャグリングとは主にお手玉のことだが、マジックの要素や得意のディアボロ(中国コマ)を披露してくれた。臼井代議士も特別出演し会場を大いに沸かせてくれた。

続いて例会企画委員会のおし物として、委員長が某講演のパロディを某講師に扮して行った。内容はあまりにお下品でここでは紹介出来ないが、会場は大いに盛り上がった。

最後にビジターとして度々出演頂いている漫画家のさとう有作さんが、赤穂浪士に扮して俵屋玄蕃を熱唱・・・のはずがこれもまた爆笑仕掛けが盛り沢山。ステージを降りて各テーブルを巡回し、会場内を爆笑の渦に巻き込んだ。さすが芸達者!

テンポ良く出し物が3つ続き、



会場が大いに盛り上がった所で、最後は臼井代議士へのビデオレターが放映された。ご本人には秘密で作成されたご家族からのメッセージビデオに代議士も思わず男泣き。「最近本当に忙しくて家族と全然向き合ってなかった」という代議士の言葉にドキとする会員も多かったのでは?

締めは勿論全員輪になって手をつなぎ、「日の出の男」を大合唱。岩田直前会長に今期のスローガン「よく学び、よく育ち、元気な経営者になろう」という言葉で締めて頂いた。

本当に暗い年の瀬を迎えた。そんな中で大いに笑いが生まれた今年の望年会。最後に嬉しい涙もあり、記憶に残る望年会になってくれていたら幸いです。

今月のフクロウ募金 6,058円。出席者 52名。



青年経営者共育委員会

平成20年12月16日(火) 千葉市生涯学習センター 3F研修室

今年の重大ニュース

12月度の基礎学修会は、12月16日に千葉市生涯学習センター3F第1研修室で参加者7名で開催されました。

今回は、年末の忙しい時期ということもあり、参加者は少なかったですが、テーマを「今年の重大ニュース」と題して、各自の会社や個人の重大ニュースを発表し、参加者全員で質問をし合う形で開催しました。

その結果、参加した皆さんの会社の状況等がよくわかり、時間いっぱいまで議論を深めることができましたと思います。

特にこの発案者である山本経営促進部担当相談役の発表は、きちんと文章でまとめてあり、みんなに配りながら話して頂いたのが、非常にわかりやすく、とても為になりました。

このような重大ニュースの発表会は、今年を振り返り来年への足掛かりになると思いますので、是非皆様の会社でも取り組んではいかがでしょうか。



▲先生もお手伝いしたジャグリングショー



◀産方、徳永両例会企画副委員長の名司会で進行

いつものように最後は「日出男讃歌」の合唱でお開き



学修委員会

平成20年11月17日(火) 千葉市生涯学習センター 3F研修室

レスポンス広告の基本

平成20年11月17日第5回通常学修会が予定通り開催されました。また11月22日、委員会会議で諸課題の意見交換をしました。

11月の学修会ではコマーシャルの基本原理を学び、どうすれば自社商品が社会に認められ、お客さんからの継続的な支持が得られるのかを考えました。また、論語副読本として、中国古典研究家の守屋淳氏の解説で、「自らを正し、下に倣わせる。されば組織は末永く発展する」、「自分なりの価値基準と協調。リーダーはこの二つを併せて」をテーマに考えました。

厳しい経済環境の中、学修委員会では現実を直視し、経営者として「自覚」と「誇り」を持てるように多彩な学びを企画しています。「厳しいだけの、薄情リーダー」では社員は元気を出せません。しかし「実力を持たない、口だけリーダー」に社員は付いて来ませんし、お先は真っ暗です。

硬軟を兼ね備え、先見性と創造性を磨いたなら、どんな時代にも対応できるはず。そこが学修会の目標とする到達点です。

平成20年11月17日(火) 千葉市生涯学習センター 3F研修室

クレーム対応

新年度からスタートした通常学修会も12月で第六回を迎えました。

12月のテーマは「クレーム対応」でした。どんな業種でも、どんな企業でもクレームから逃れる事は出来ません。誰しものが、クレームを減らそうと全力を尽くしているはず。でも無くならないのが常。だから事後の対応が重要です。クレームに対処する基本的な考え方を聴いてから、互いの経験を語り、意見の交換をしました。自己流のクレーム対応が命取りになる場合が多々あります。逆に、良いクレーム対応は業績発展をもたらします。

経営に於いて基本的な知識の習得はどうしても必要です。

学修会ではその必須科目を学んでいます。もうマスターしている人には不要ですが、不十分を感じる人は共に学びましょう。

昔なら歳末と言えばそれなりの賑わいがあったし、新年を迎える華やかさがあったのに、近年はそんな情緒も失せてしまいました。日本的な良さが年々失われる気がします。「武士道」精神を再認識し、地に足を着けた人生を送りたいものです。その為にも論語は役に立つと思います。

共に学んだ皆様、学修した事が役に立つ日が必ず来ると思います。

親睦企画委員会

平成20年11月15日(土) 鎌倉方面

楽しかった古都、鎌倉散策 日記

いざ鎌倉へ！11月15日(土) 晴れ、千葉駅に集まった有志老若男女 16名は千葉駅始発の快速グリーン車にゆったりと乗り込み、阿佐会長の「おはようございます」だけの簡潔な挨拶でこの楽しい小旅行は始まった。

間もなく修学旅行を想い起こす宴会？がスタート、みんなの余りの元気(騒々しさ)に確かに乗っていた筈の他の乗客がいつの間にか姿を消す……。1時間半、あっという間に北鎌倉駅到着、なんとか一人もこぼれず全員下車、でも人員点呼しようとしても「トイレは何処？お茶買いたい。売店は何処？」…ってなかなか集まらない～ やっと最初の拝観大本山円覚寺へ～ 境内の朝のすがすがしい荘厳な空気はビール顔に心地良い。全員で円覚寺前で記念撮影。

次の拝観東慶寺駆け込み寺へ、200m 位歩いてもうお疲れになったのか男性約2名、お寺の入口横の喫茶店へこっそり駆け込みコーヒープレイク。



その次の竹林英勝寺では運慶作、阿弥陀菩薩像を小窓を開けて拝観、霊験あらたかな仏像の笑みが返ってくる。

次の寿福寺入口では、「もう歩くのしんどいからここで待ってる」とダダをこねる元女の子、「この寺は源頼朝の女房・正子の墓が在り一見に値する」とダマシダマシ石段を登り、全員無事拝観終了。

もう一箇所 海蔵寺拝観はみんなのチドリ足とお疲れの顔色をよんで即省略～ 一路鎌倉駅前小町通りの昼食料亭 秋本へ。

美味しい懐石料理と酒、ビール、ワインで盛り上がり、元気を取り戻した16名は小町通りへ～ お土産を探しに3、3、5、5。

丁度小町通りは七五三祝いで、多くの人の波で一杯～自由時間をみんなの総意で一時間延長～ 帰りの集合時間3時、鎌倉駅前に不思議に定刻に一人もこぼれず集まったのには感心!!

みんな疲れたのかのう？個性ある月星キャラクターの参加の皆さん、親睦委員長竹口さんお疲れさんでした。

帰りもグリーン車でゆったり一路千葉へ～ 楽しい一日でした。



会員異動 入・退会

変更

会社移転：住所・電話・FAX変更
株式会社 友伸建設
〒264-0023 千葉市若葉区貝塚町2037番地3
TEL.043-232-2326 FAX.043-233-2528
会社移転：住所変更
岩田被服株式会社
〒260-0001 千葉市中央区都町1285-15

退会

小出 進一 (株) コイデ企画 代表取締役
初山 武美 (株) 上総 取締役会長

1・2月のスケジュール

1/13 (火)	役員会	18:30開会	ブラザ菜の花
1/19 (月)	通常学修会	19:00開会	生涯学習センター
1/24 (土)	新春の集い	賀詞・名刺交歓会 18:00開会	ホテルグリーンタワー千葉
1/27 (火)	基礎学修会	19:00開会	生涯学習センター
2/ 9 (月)	役員会	18:30開会	ブラザ菜の花
2/14 (土)	朝食例会	07:00開会	ホテルグリーンタワー幕張
2/16 (月)	通常学修会	19:00開会	生涯学習センター
2/17 (火)	基礎学修会	19:00開会	生涯学習センター
2/19 (木)	ボウリング大会	18:00スタート	アサヒホール

編集後記

明けましておめでとうございます。“100年に1度”という声が出るぐらいに、きわめて厳しい経営環境の下で2009年がスタートしました。環境が厳しくても、我々には前進しかありません。世界同時不況だの恐慌だのって言うてはられないのです。どんな強烈な逆風であろうと、それに打ち克ち、突き進んでいかなければならないのが我々企業経営者の使命です。今年の活動テーマ、「自主自立」の精神をもって、お互いががんばりましょう。

「会報つきばし」の新春号、いかがでしたか。臼井代議士と阿佐会長の対談を読んでいると、お二人がいかにか月星会を愛し、大事に考えているかがよくわかります。私たち会報の編集スタッフも同じ思いです。少しでも会員皆様に愛される媒体になるよう、心を込めて作ってまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。(栗原)